

# 鉄門ニュース 7号

## 私たちは、石垣を文化財として保存するために補修しています！

補修工事には、多くの石工(いしく)さんという職人さんが携わってくださっています。石垣を文化財として大切に考えてくださる方たちです。また、石垣のある舞鶴城公園は県民や観光客の憩いの場でもあります。石垣が崩れたりしないように、安定した石積みを中心に心がけていきます。

そのため、安定した石垣と文化財としての石垣のバランスをどうとっていくか、ということが工事を進めるうえで大変難しい課題です。工事では、文化財担当の職員と職人さんたちが一緒に、補修方法について検討し記録をとっていくことで、その両方を実現していこうとしています。



補修方法の検討の様子です。

上からの重さで破断してしまった石には、十分な検討のうえで、ボルトなどで補強します。文化財である石をできるだけ残そうという判断です。



ここは、あまり奥行きのない3つの石が積まれています。石垣の見た目を良くする役割があるため、新しい石に交換するのではなく、ボンドでとめて安定させて、そのままの石を使うことにしました。

記録カードの作成。ひとつひとつの石の診断書を作り、どのような判断で補修したのかを記録します。

